

子ども家庭支援論

科目ナンバリング SWS-303
選択 2単位

佐々木 沙和子

1. 授業の概要(ねらい)

この科目は、保育士に必要とされる子ども家庭支援の基本的な考え方を理解した上で、子どもや家庭など一人一人の利用者や状況に合わせたニーズに対する支援について、多職種・多機関との連携や地域の社会資源とつながりながら支援を行う視点を身につけることが目的である。主に、保育所をはじめとする社会福祉施設での援助および支援について実践的な視点で学び、グループワークやディスカッションを通して他者と共有しながら子ども家庭支援に対する自らの考えを深める。

2. 授業の到達目標

- ・多様な家庭の在り方や多文化の家庭支援に関心を持ち、保育士に求められる支援について考えることができる。
- ・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。
- ・子ども家庭支援に必要な実践方法を理解し、説明することができる。
- ・これまでの授業や実習等で得た経験や思考力を活かして社会的課題を保育の視点から考えることができる。
- ・保育者として子ども家庭支援に求められる倫理観を持ち、責任ある選択や行動をとることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況(30%)、授業内の演習への取り組み(30%)、授業内レポートおよび課題レポート(40%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定教科書なし。授業内で資料を配布する。

参考文献

ミネルヴァ書房編集部編 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

毎回の授業内容を各自整理し、保育士による子どもとその家庭への支援について理解を深めてください。
授業内容に関連するニュースや事例について興味を持ち、疑問点や問題点は授業時に質問するようにしましょう。

6. その他履修上の注意事項

子ども家庭支援に関する基礎的な知識をもとに、日々の生活とのつながりも意識しながら興味を持って下さい。
保育士は子ども家庭支援分野の専門家の一つです。自らの学びが今後出会う子どもや家族のためになるという気持ちで学んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション／子ども家庭支援とは
- 【第2回】 子ども家庭支援の意義と役割
- 【第3回】 子ども家庭支援の目的と機能
- 【第4回】 子ども家庭支援の意義と基本知識
- 【第5回】 保育士に求められる基本的態度
- 【第6回】 子ども家庭支援の具体的な実践事例について学ぶ①保育所での支援
- 【第7回】 子ども家庭支援の具体的な実践事例について学ぶ②地域の子育て支援
- 【第8回】 子ども家庭支援の具体的な実践事例について学ぶ③要保護児童及びその家庭に対する支援
- 【第9回】 子ども家庭支援の具体的な実践事例について学ぶ④その他(子ども食堂や海外での事例等)
- 【第10回】 子ども家庭支援に必要な連携や専門性について学ぶ①自治体や地域の関係機関
- 【第11回】 子ども家庭支援に必要な連携や専門性について学ぶ②地域の社会資源
- 【第12回】 子ども家庭支援に必要な連携や専門性について学ぶ③子育て支援施策・次世代育成施策
- 【第13回】 外部講師「子ども家庭支援に必要な連携や専門性について」
- 【第14回】 まとめ／保育士に求められる専門性について考える
- 【第15回】 子ども家庭支援に関する現状と課題について多様な視点から考える ※オンライン授業回(実施内容や時期や初回授業で説明します)